

# 登別中学校 校適正配置に関する地区別検討委員会

## 第3回まちづくり部会 会議次第

日時 令和4年6月23日（木）13時30分

場所 登別市婦人センター講堂（2F）

### 1. 開会

### 2. 資料説明

登別市教育委員会教育部

「登別中学校の現状と今後の見通しについて」

登別市総務部

「登別中学校区の『まちづくり』について」

### 3. 意見交換

- (1) 登別中学校区のまちづくりにおける中学校の役割や統合による影響などについて

### 4. その他

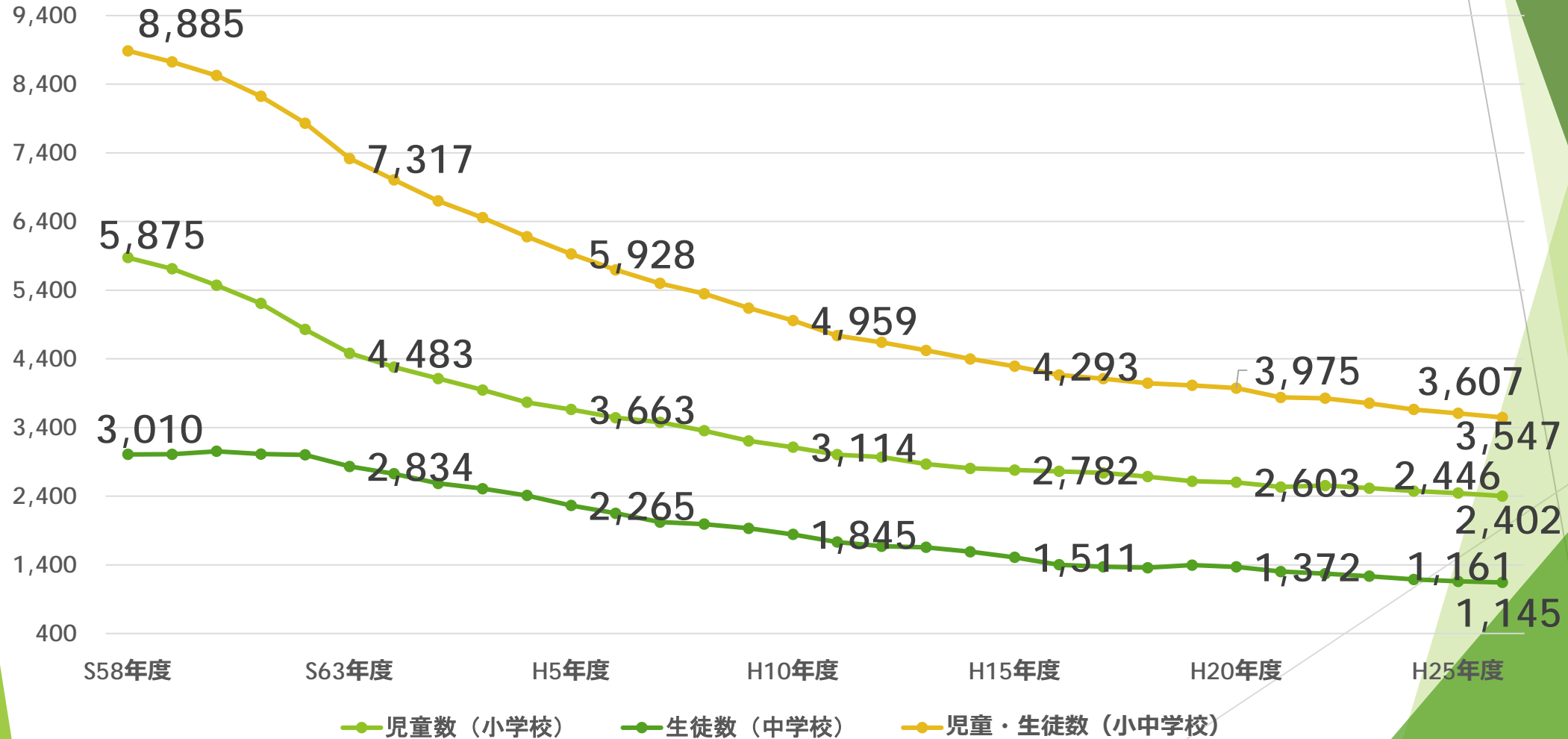
### 5. 閉会

# 登別中学校の現状と 今後の見通しについて

令和4年6月23日  
登別市教育委員会

# 小中学校の適正配置：これまでの経過①

## 市内の児童・生徒数推移（S58～H26）



# 小中学校の適正配置：これまでの経過②

## 『登別市学校適正配置基本方針』策定（H26.5）

### ● 学校規模の目安

小学校：1学年1学級以上

中学校：1学年2学級以上

### ● 学級規模の目安

1学級20人程度以上

（1学年1学級の場合）

# 小中学校の適正配置：これまでの経過③

国により策定（H27.1）

『適正規模・適正配置等に関する手引き』

## ●望ましい学級数

### 【小学校】

少なくとも1学年1学級以上が必要。

2学級以上あることが望ましい。

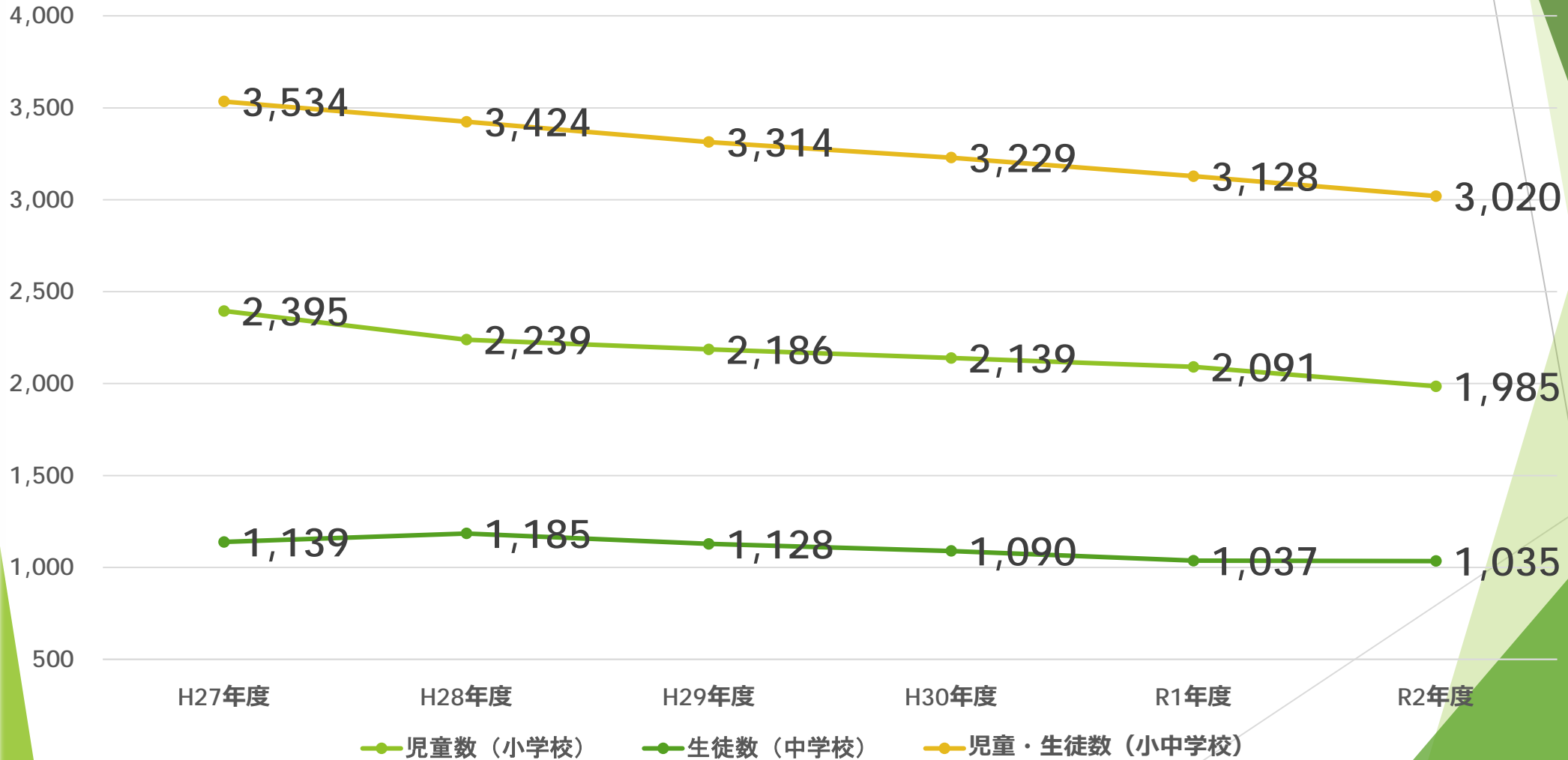
### 【中学校】

少なくとも1学年2学級以上が必要。

3学級以上あることが望ましい。

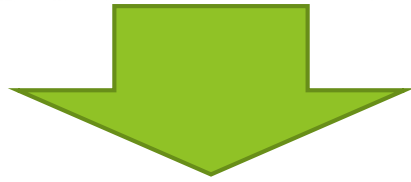
# 小中学校の適正配置：これまでの経過④

## 市内の児童・生徒数推移（H27～R2）



# 小中学校の適正配置：これまでの経過⑤

基本方針策定後も児童・生徒数はさらに減少



規模の目安を下回る学校が複数発生（R2年度）

## ● 学校規模

小学校：目安を下回る学校はなし

中学校：3つの学校で目安（1学年2学級）を下回る

## ● 学級規模

小学校：2つの学校で目安（1学級20人）を下回る

中学校：1つの学校で目安（1学級20人）を下回る

# R3年度から学校規模適正化に向け具体的取組



まずは今後35年間の学校配置の姿を、  
「適正規模と適正配置の指針」としてとりまとめ  
(小中学校のランドデザイン)



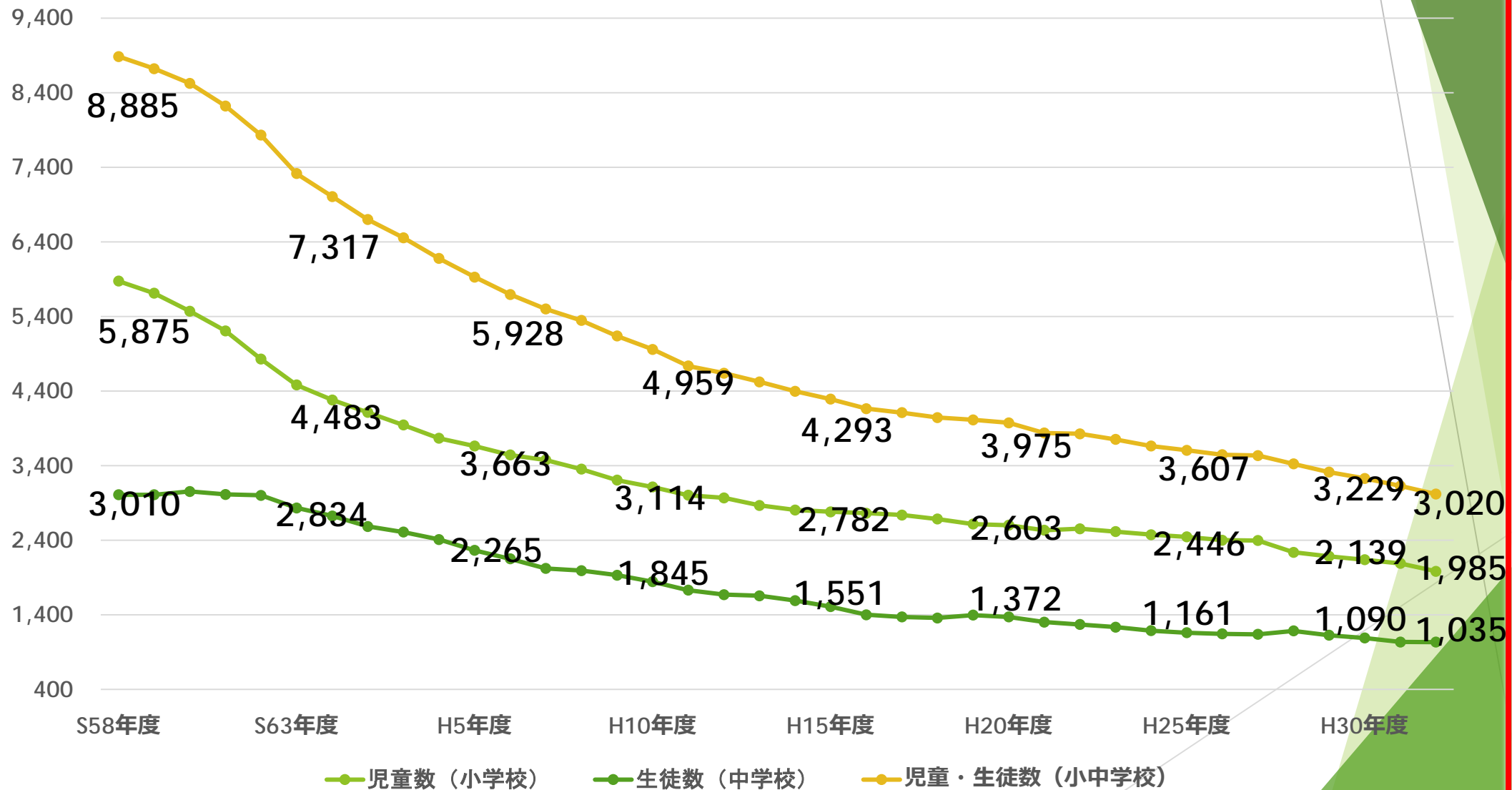
# 「小中学校のグラウンドデザイン」について

児童・生徒数の推移を整理（S58～R2）

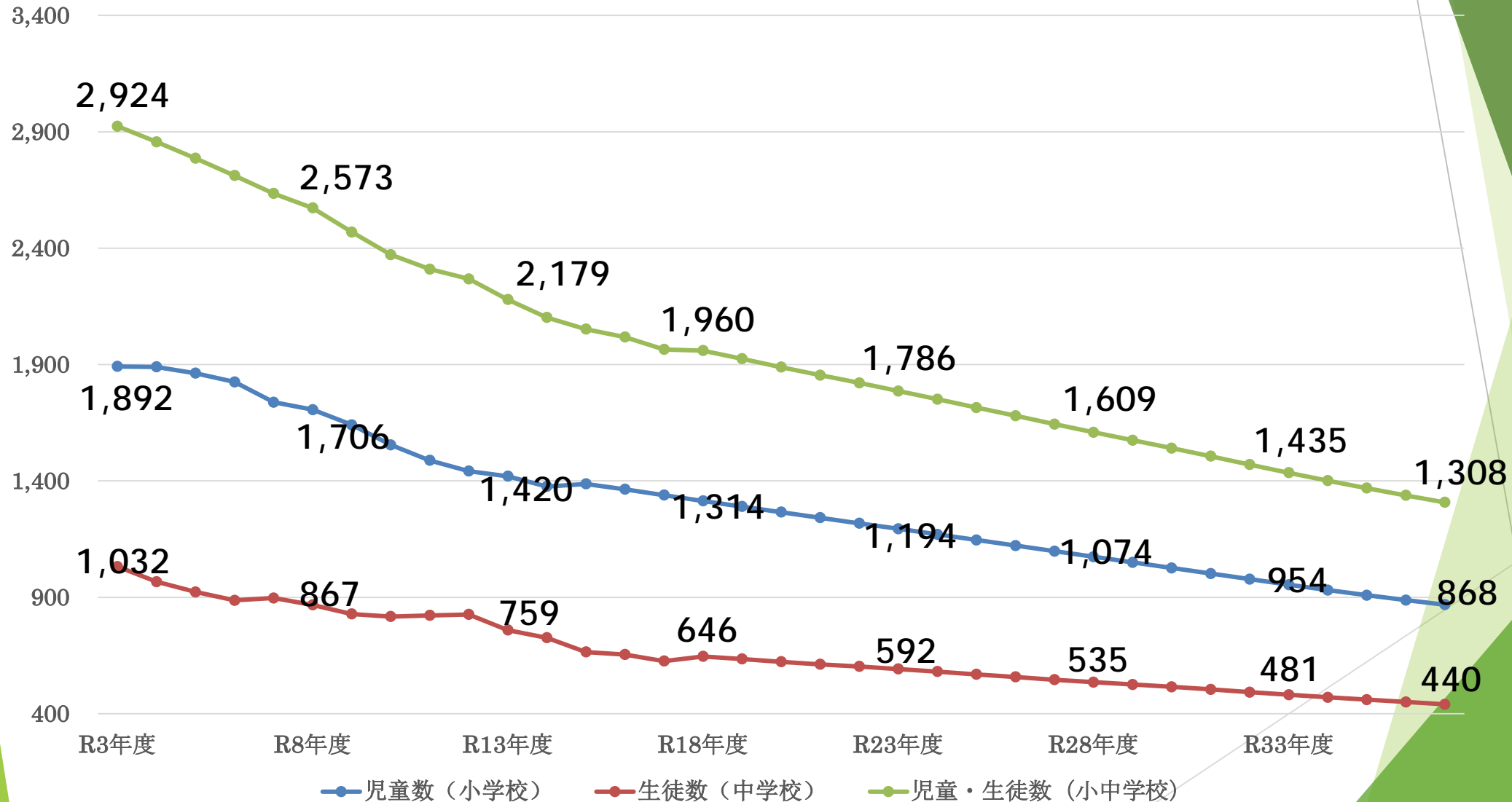
市内の児童・生徒数を推計  
（～R37）

小中学校のグラウンドデザインを検討  
（R3～R37）

# 市内児童・生徒数の推移 (S58~R2)



# 市内児童・生徒数の推計（R3～R37）

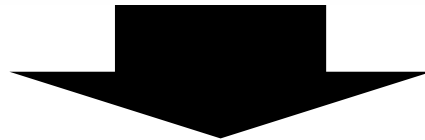
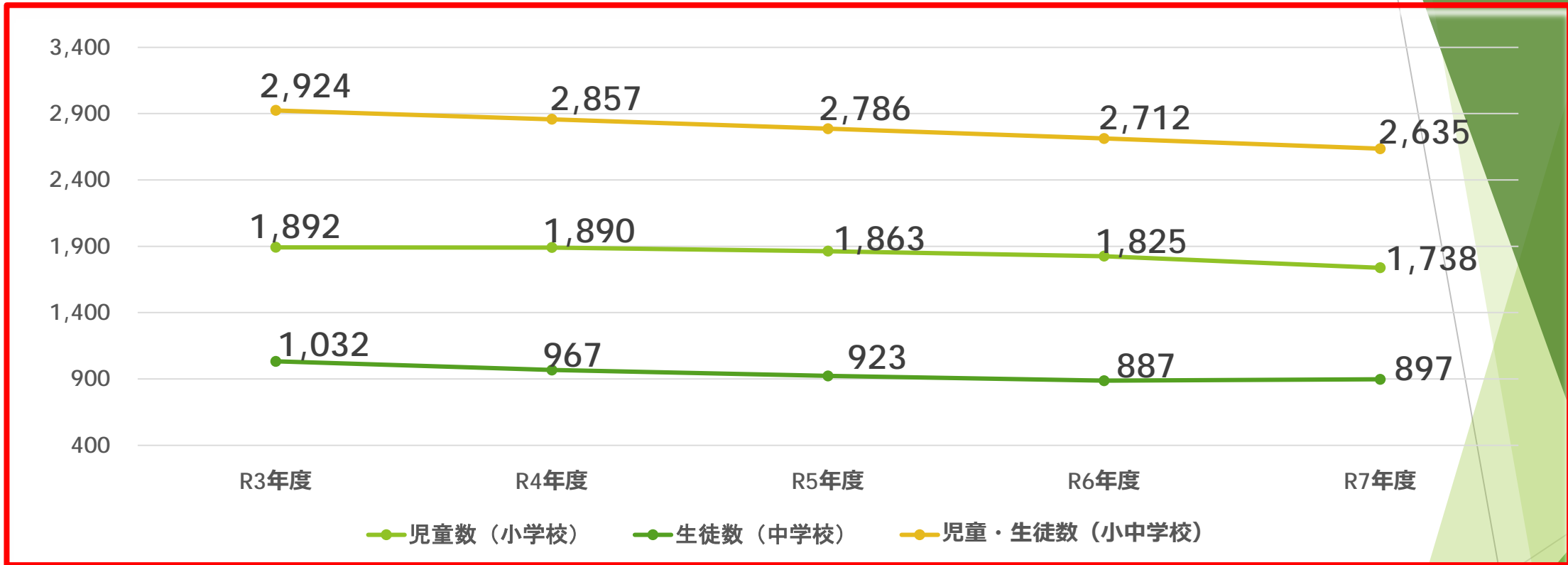


# 小中学校のグラウンドデザイン

## ポイント

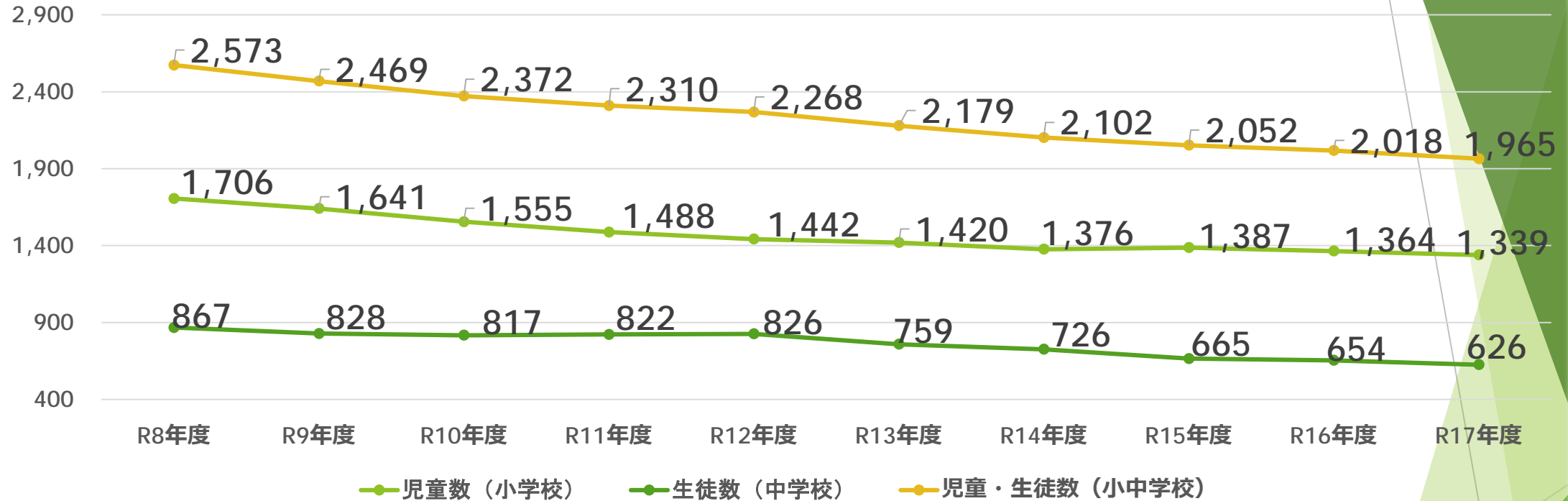
- 第1期～第3期の期別に、児童・生徒数推計に基づいて小中学校の適正配置の姿を提示
- 第1期（R3～7年度）に関しては、『適正配置基本方針』で示す「学校の規模」を下回る学校に関し、具体的取組を進めることを想定し検討
- 第2期（R8～17年度）に関しては、『適正配置基本方針』のほか、国が示す手引きなども勘案し検討
- 第3期（R18～37年度）に関しては、現在の学校区をベースとしながらも、学校区を再編成することも視野に検討

# 第1期（R3～R7年度）の児童・生徒数推計



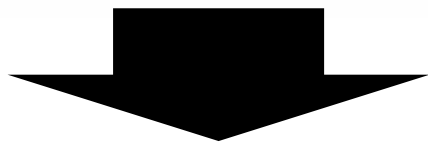
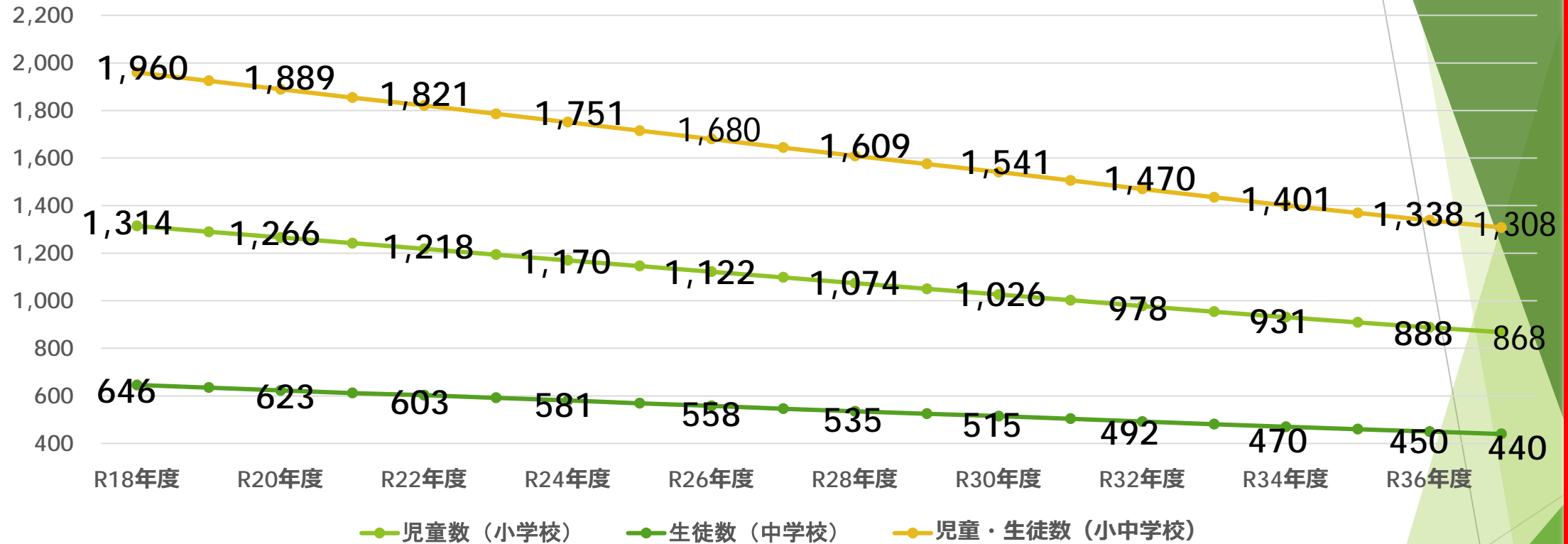
小学校7校／中学校4校の11校体制

# 第2期（R8～R17年度）の児童・生徒数推計



小学校4校／中学校3校の7校体制

# 第3期（R18～R37年度）の児童・生徒数推計



小学校4校／中学校2校の6校体制

**「小中学校のグラウンドデザイン」**

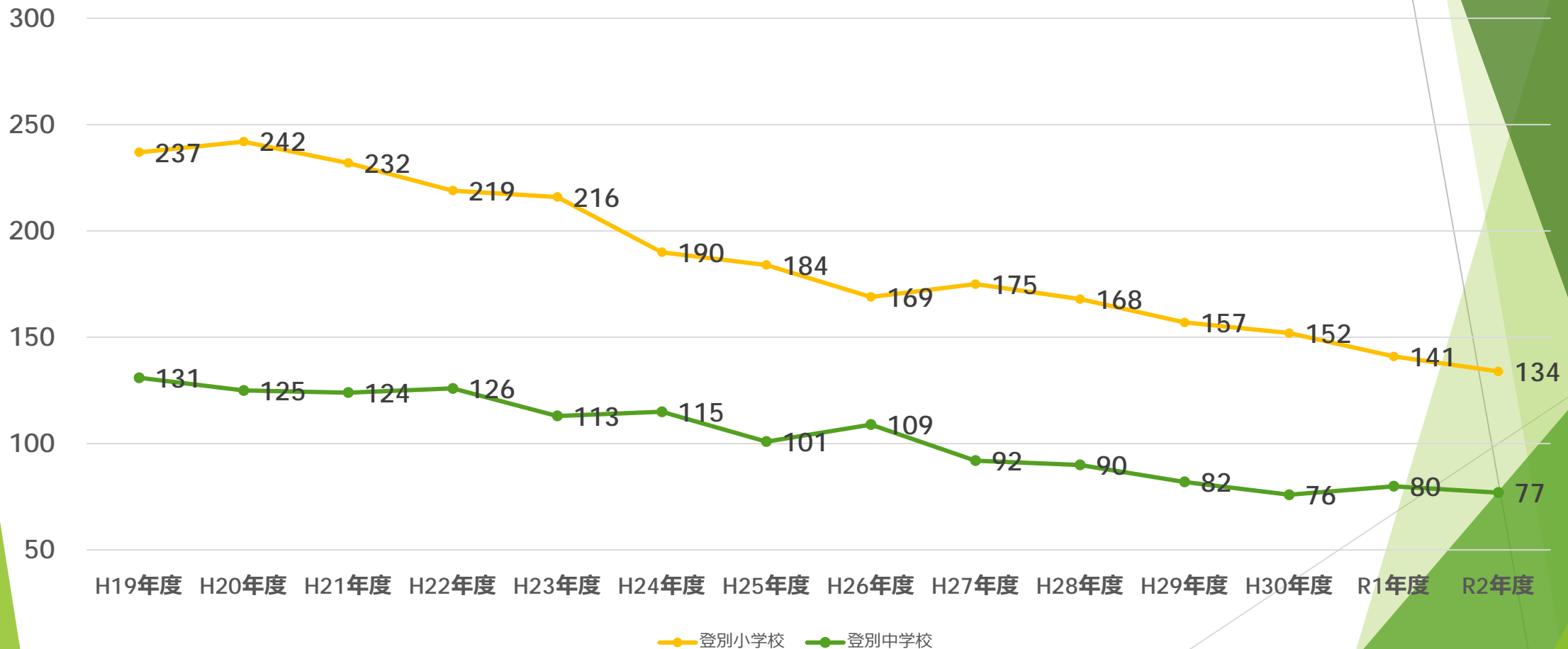


**「登別小学校」と「登別中学校」  
どのように位置付けられているか**



# 「登別小学校」と「登別中学校」の現状

## 児童・生徒数推移（登別小学校と登別中学校）（H19～R2）



# 「登別小学校」と「登別中学校」の状況

## 登別小学校

- **学校規模**  
**全学年 1 クラス**  
(目安は 1 学年 1 クラス)
- **学級規模**  
**2 クラスで 20 人未満**  
(目安は 1 クラス 20 人程度以上)

## 登別中学校

- **学校規模**  
**全学年 1 クラス**  
(目安は 1 学年 2 クラス)
- **学級規模**  
**1 クラスで 20 人未満**  
(目安は 1 クラス 20 人程度以上)

※ともにR2.4.1時点

# 学校小規模化の「良さ」と「課題」

## 学校小規模化の「良さ」

- 一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導がしやすい。
- 学校行事や部活動等において、一人ひとりの活動機会を設定しやすい。
- 相互の人間関係が深まりやすい。
- 異学年間、縦の交流が生まれやすい。

# 学校小規模化の「良さ」と「課題」

## 学校小規模化の「課題」

- ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
- クラス替えが難しく、人間関係や相互評価が固定化しやすい。

### 【具体例】

登別小学校・登別中学校 全学年で1クラス

- 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。

### 【具体例】

登別小学校（全校6クラス中）2クラスで20人未満

登別中学校（全校3クラス中）1クラスで20人未満

# 学校小規模化の「良さ」と「課題」

## 学校小規模化の「課題」

- グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習・指導形態を取りにくい（小学校）。

→教員配置数が少なく、グループ学習時の教員が確保できない状況が発生

【具体例】

登別小学校→担任外教諭は3名のみ（R3年度）

- 各教科の免許を持つ教員を配置しにくい（中学校）。

→教員配置数が少なく、結果として免許外指導が発生

【具体例】

登別中学校→美術、技術、家庭科で専任教員の配置なし

# 学校小規模化の「良さ」と「課題」

## 学校小規模化の「課題」

- 運動会など集団による教育活動に制約が生じやすい。

【具体例】

登別小学校・登別中学校 全学年で1クラス

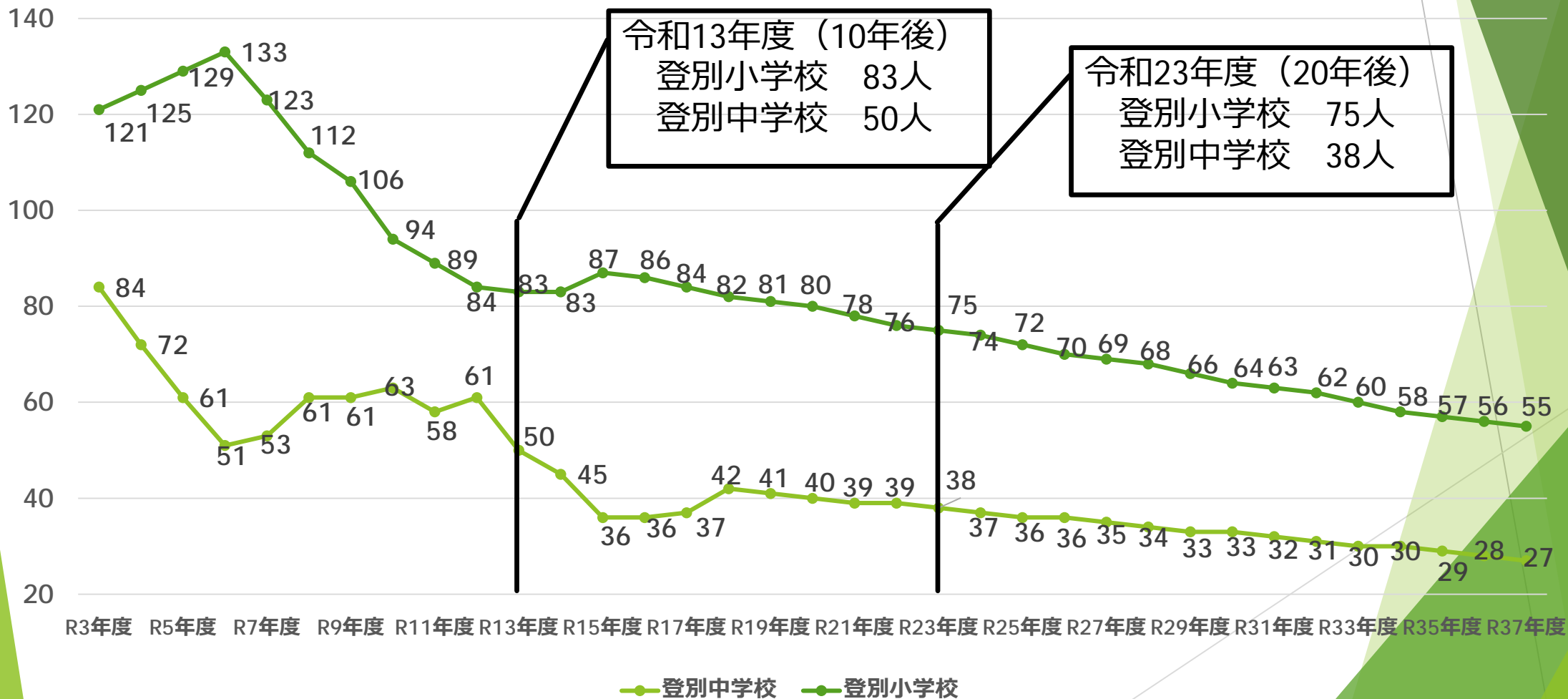
- 部活動等の設置に制約が生じ、選択の幅が狭まりやすい（中学校）。

【具体例】

登別中学校⇒バドミントン部、テニス部、吹奏楽部のみ  
（生徒数の減少、顧問となる教員配置数の減少による）

# 「登別小学校」と「登別中学校」の今後

児童・生徒数推計（登別小学校と登別中学校）（R3～R37）



# 「登別小学校」と「登別中学校」の今後

## 登別小学校

- 学校規模  
全学年 1 クラス
- 学級規模  
2 クラスで20人未満

将来を見通すと・・・

- 学級規模  
【R3年度以降】  
過半数のクラスで20人未満  
【R10年度以降】  
全クラスで20人未満

## 登別中学校

- 学校規模  
全学年 1 クラス
- 学級規模  
1 クラスで20人未満

将来を見通すと・・・

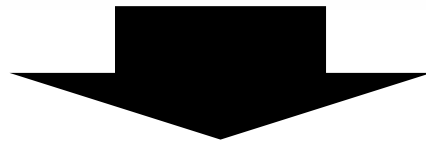
- 学級規模  
【R5年度以降】  
20人未満のクラスが複数発生  
【R13年度以降】  
全クラスで20人未満



# ランドデザインでの「登別小学校」の位置付け

## 「小学校」について

- 望ましい教育環境実現のために必要な学校規模確保を前提に検討
- ただし「小学校」については、地域で子ども達を育む側面が強いこと、地域発展の核となる施設であり、地域性を加味して検討することが必要であることから、地区に少なくとも1校配置することを基本に検討

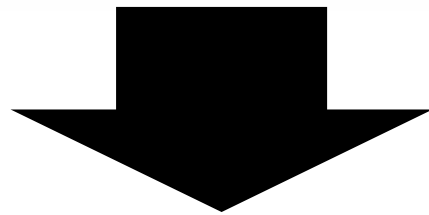


「登別小学校」は存続を想定

# ランドデザインでの「登別中学校」の位置付け

## 「中学校」について

- 望ましい教育環境実現のために必要な学校規模確保を前提に検討
- 特に「中学校」については、生徒の成長に応じ、教科別の教育環境や多様な交流経験を用意する必要あり



「登別中学校」については、

R7年度までに幌別中学校との統合を想定

保護者と地域住民有志により、  
**地区別検討委員会設置 (R3.10)**



教育環境とまちづくり両部会で議論 (R4.4～)



登別中学校の今後のあり方と  
統合の是非について議論

# 登別中学校区の「まちづくり」について

～地区別検討委員会まちづくり部会資料～

令和4年6月 登別市



## 登別中学校区のまちの特色

- ①登別観光の玄関口として、まちの第一印象を決める重要な地域(JR登別駅、都市間高速バス停留所、登別東インターチェンジ)
- ②日本を代表する温泉地(登別温泉・カルルス温泉)
- ③登別観光の人気スポットとして、テーマパーク(登別マリパークニクス、登別伊達時代村、のぼりべつクマ牧場)の集積
- ④知里幸恵 銀のしずく記念館や(仮称)登別市情報発信拠点施設「ヌプル」を中心としたアイヌ文化の発信 など、

他の地域にはない観光を中心とした特色がある。





# 登別中学校区で進めている「まちづくり」に関する事業

- ①(仮称)登別市情報発信拠点施設「ヌプル」の整備(令和5年3月供用開始予定)
- ②JR登別駅 エレベーター等の設置(令和8年度供用開始予定)
- ③JR登別駅 駅前広場の整備(令和8年度供用開始予定)
- ④JR登別駅 駅舎の増築(令和8年度供用開始予定)
- ⑤JR登別駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定(令和4年度策定予定)
- ⑥婦人センター敷地の民間活用に向けたサウンディング調査(令和4年度予定)
- ⑦消防団登別分団の車庫及び詰所の設置(令和8年度設置予定)
- ⑧登別温泉でのグリーンスローモビリティの本格導入(令和4年度導入予定)
- ⑨カルルス温泉を拠点とした企業型ワーケーションの実施(令和4年度予定)など、  
観光を中心としたまちづくりを推進



# まちづくりの主体となる登別市の人口

## 第1章 人口ビジョン

### 2. 人口の現状分析

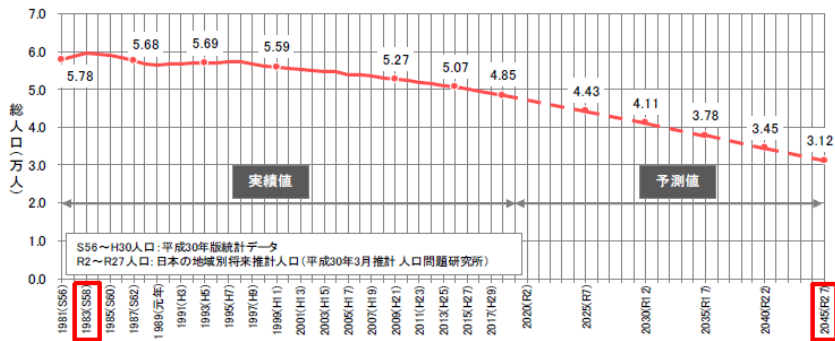
#### (1) 人口の推移

##### ① 総人口の推移

当市の人口は、工業都市室蘭市の人口増加とともに増加し続けてきましたが、昭和58年（1983年）をピークに年々減少しており、平成7年（1995年）頃わずかに増加したものの、以降は減少が続いています。

今後、人口は減少し続けると予測されており、令和27年（2045年）には31,170人となり、昭和58年時点の半数程度にまで減少するとされています。

登別市の総人口の推移と将来人口



令和27年の人口は、昭和58年の約半数(S58 5.78万人→ R27 3.12万人)  
生産年齢人口が老年人口を下回る

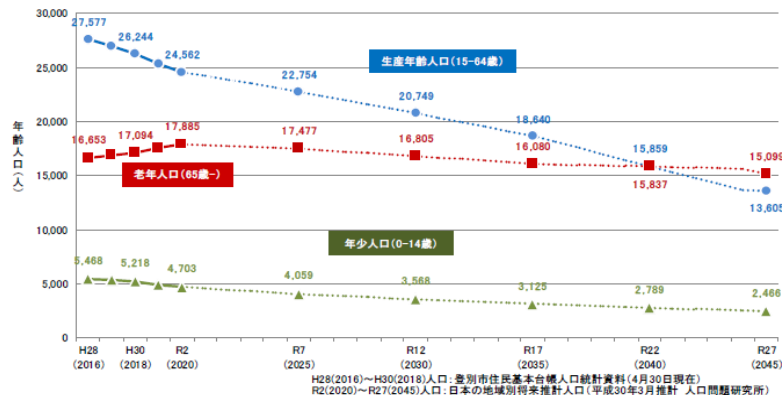
## 第1章 人口ビジョン

### ② 年齢別人口の推移

年齢3区分別の人口をみると、老年人口（65歳以上）が令和2年（2020年）までは増加するものの、年少人口（0-14歳）及び生産年齢人口（15-64歳）は減少が続くと予測されています。老年人口も令和3年以降は減少に転じると予測されています。

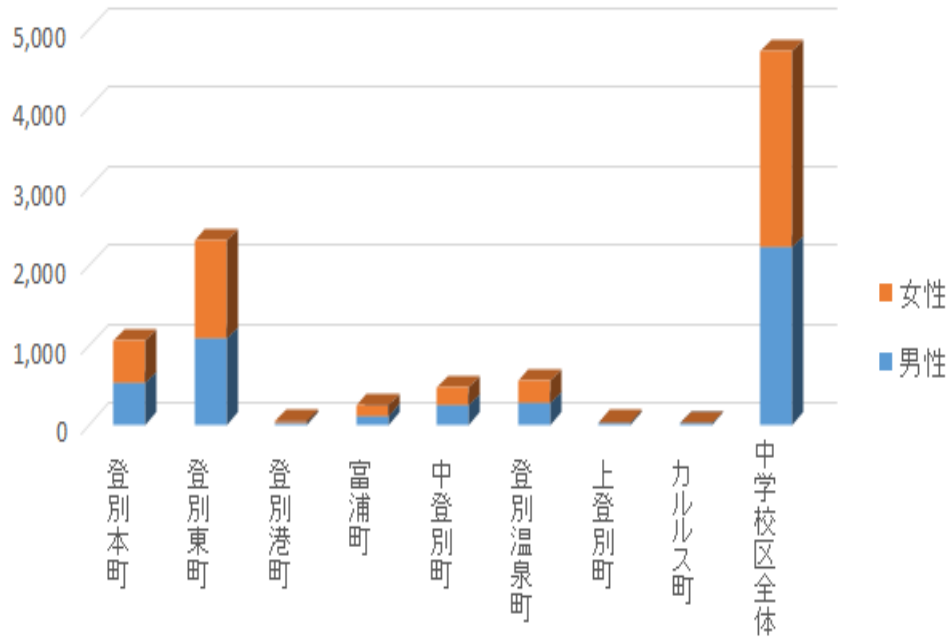
高齢化率（65歳以上）は、将来的にますます高まり、令和27年（2045年）には48.4%に達すると予測されています。

登別市の年齢別人口の推移と将来人口



# 登別中学校区の人口(令和4年3月31日現在)

登別中学校区の人口  
(令和4年3月31日)



## 男性

登別本町	登別東町	登別港町	富浦町	中登別町	登別温泉町	上登別町	カルルス町	合計
517	1,082	17	113	228	259	14	9	2,239

## 女性

登別本町	登別東町	登別港町	富浦町	中登別町	登別温泉町	上登別町	カルルス町	合計
537	1,229	20	131	230	291	13	15	2,466

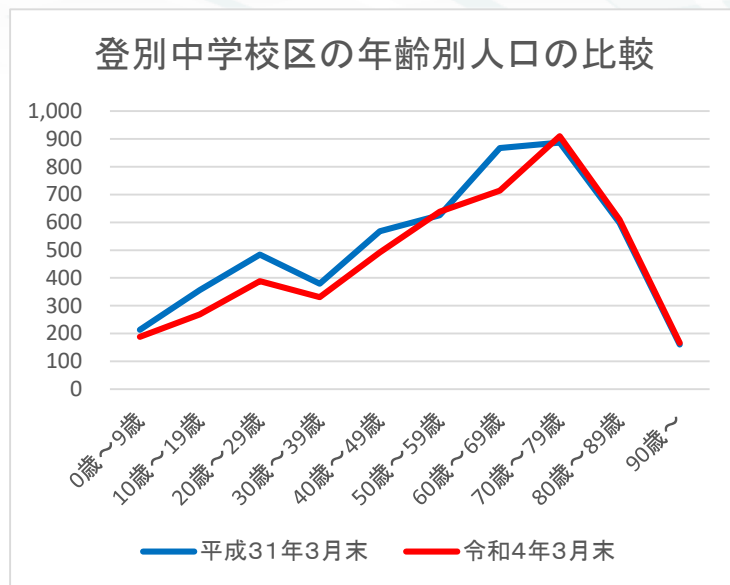
## 合計

登別本町	登別東町	登別港町	富浦町	中登別町	登別温泉町	上登別町	カルルス町	合計
1,054	2,311	37	244	458	550	27	24	4,705



# 登別中学校区の年齢別人口の推移(平成31年と令和4年の比較)

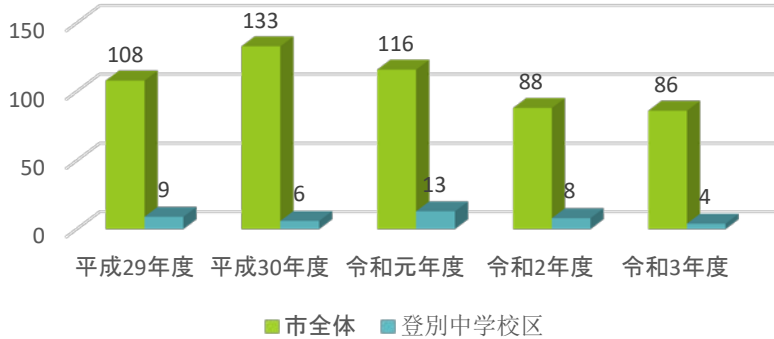
区分	平成31年3月31日現在			令和4年3月31日現在			増減		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0歳～9歳	123	91	214	106	82	188	-17	-9	-26
10歳～19歳	176	180	356	143	126	269	-33	-54	-87
20歳～29歳	226	258	484	194	194	388	-32	-64	-96
30歳～39歳	204	175	379	172	159	331	-32	-16	-48
40歳～49歳	298	270	568	267	225	492	-31	-45	-76
50歳～59歳	320	306	626	322	316	638	2	10	12
60歳～69歳	415	452	867	366	348	714	-49	-104	-153
70歳～79歳	396	491	887	393	517	910	-3	26	23
80歳～89歳	212	386	598	223	386	609	11	0	11
90歳～	39	122	161	53	113	166	14	-9	5
計	2,409	2,731	5,140	2,239	2,466	4,705	-170	-265	-435
65歳以上	892	1,268	2,160	865	1,201	2,066	-27	-67	-94
高齢化率	42.0%			43.9%			1.9%		



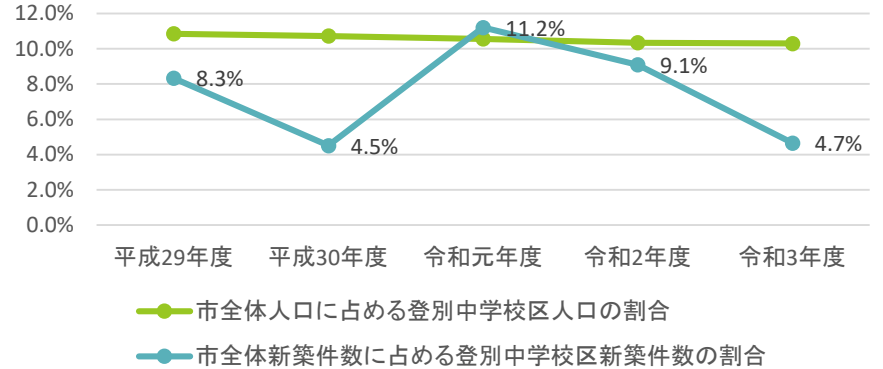
登別中学校区の人口は、令和元年と比べ3年で435人(約8.5%)減少し、高齢化率(65歳以上の割合)は、43.9%で1.9%増加。市全体と比べ人口減少割合の上昇スピードが早い。

# 登別中学校区の新築件数の推移(平成29年度～令和3年度)

## 新築件数の推移



## 市全体新築件数に占める登別中学校区新築件数の割合



### ■新築件数の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
市全体	108	133	116	88	86	531
登別中学校区	9	6	13	8	4	40
割合	8.3%	4.5%	11.2%	9.1%	4.7%	7.5%

登別中学校区の新築件数は、各年度によりばらつきがあるものの低い傾向にある。また、「市全体の  
新築件数に占める登別中学校区の新築件数の割合」と「市全体人口に占める登別中学校区人口  
の割合」と比較しても低い状況にある。



## 登別中学校が「まちづくり」にどう関わってきたのか

登別地獄まつりへの参加  
(鬼みこし・熊舞)

登別駅前での熊舞披露  
(四季島)

主にイベント等に  
積極的に参加し、  
郷土芸能等を通じた  
郷土愛の醸成やイベ  
ントの盛り上げに  
貢献

「わくわく広場のぼりべつ」  
での吹奏楽部による演奏

「Be Smile 鬼花火」での  
熊舞披露

# 登別中学校統合時における「まちづくり」への影響

## ◎登別中学校特有の影響等

### ■郷土芸能「熊舞」の伝承

統合校に引き継がれるのか・・・  
郷土愛が薄れていくのでは・・・  
イベント等での盛り上がり欠けるのでは・・・

### ■「登別地獄まつり」への参画

引き継ぎ先(地域or統合校)での参加は可能・・・  
参加しない場合は、市内最大のお祭り「登別地獄まつり」として盛り上がり欠けるのでは・・・  
地域の子ども達が登別温泉・カルルス温泉への愛着が薄れていくのでは・・・

### ■「わくわく広場のぼりべつ」への参画

地域イベント(地域の人々)と地域の子ども達との繋がりが薄れていくのでは・・・

■熊舞及び鬼みこしについては、地域での継承又は統合校への引継を検討？

■地域イベントでの学校(部活動含む)への参加呼びかけなど、関わりを検討？

# 登別中学校統合時における「まちづくり」への影響

## ◎学校統廃合における「まちづくり」への一般的な懸念等

### ■地域の衰退

登別中学校の近隣から子育て世帯が減っていくのではないか・・・

登別中学校区における新築や転入が減るのではないか・・・

子ども達やその保護者(若い世代)が少なくなり、まちの活力がなくなっていくのでは・・・

### ■地域コミュニティの希薄

地域コミュニティの中核となる登別中学校がなくなること  
で、地域内における世代間のコミュニティが希薄となるでは・・・

■地域の強み「観光」を活かした産業の振興による地域活性化？

■新たな施設を活用した地域コミュニティの強化？

## 登別中学校統合に関する市の考え方

学校の統廃合においては、行政と地域住民、地域住民同士に亀裂を生む事態となることもある。

このような事態を回避するためには、行政や学校、保護者、地域住民などの関係者が、子どもの教育環境を第一に考えながら、「まちづくり」への影響も含めて協議を重ねていくことが重要と考える。

登別中学校の今後のあり方や統合の是非に関する検討体制（保護者や地域住民等で構成）

地区別  
検討委員会

- 教育環境部会
- まちづくり部会